

## 平成 28 年度 第 42 回卒業証書授与式 式辞

早春の息吹が感じられる今日の佳き日に、ここに大阪府立長尾高等学校第 42 回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、公私ご多用中にも関わりませず、卒業生の出身中学校の校長先生、学校協議会会長様をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠に有難うございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

また、皆様方には、平素から本校教育の推進に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

先ほど卒業証書を授与された 303 名の皆さん、卒業誠におめでとうございます。皆さんの卒業を心からお祝いいたします。

皆さんが過ごした本校での 3 年間は楽しく、かつ充実した日々であったことと思います。そして、本校において、学業に学校行事に部活動に、熱心に取り組まれ、数々の成果を挙げてこられました。

私は、昨年 4 月に着任して以来、授業をはじめとする学習活動や学校行事、部活動にひたむきに取り組む姿、登下校や廊下ですれ違った時に、笑顔で挨拶をしてくれるその表情、地域との連携活動に前向きに取り組む姿など、皆さんの活躍する場面や爽やかな表情をたくさん見てきました。

また、42 期生は特に遅刻が少ないことも皆さんの頑張りの表れだと思います。

3 年間、雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、遅れないように、時間を大切にしようと頑張っておられました。

私にとりましては 1 年足らずという間ですが、思い返せば、それらの姿や表情が一つ一つありありと臉に浮かんできます。

そういった皆さんの姿、心意気というものは、本校のめざす生徒像である「誠実、明朗で、友愛と気力に満ちた人物像」に、ぴったりと合致していると思っています。

中でも、私が着任してから、初めて見せてもらった大きな行事、体育祭での皆さんの姿は特に印象深いものがあります。全力を尽くした競技や応援、創意と工夫を凝らした各団の旗やパネル、そして応援団によるパフォーマンス、どれをとっても立派でした。

最後の団長の熱いメッセージ、それを見守る皆さんのまなざしや姿に、皆さんの熱き想いと、心と心のつながりを感じ、大きな感動を覚えました。

私は、本校を卒業される皆さんが、長尾高校で培った、誠実、明朗で、友愛と気力に満ちた個性をいつまでも持ち続けられ、ますます成長されることと確信しています。

さて、これから皆さんを待ち受ける社会は、グローバル化、急速な情報化や技術革新といった、変化が著しくかつ人間の予測を超えて進展するようになってきています。

こうした予測困難な時代を生き抜いていかなければならない皆さんへ、今後の活躍に大きな期待を寄せ、私から「はなむけの言葉」を送りたいと思います。

一つは、『人と人とのつながり』『人間どうしの心と心のつながり』を大切にしてください」ということです。

スマートフォンをはじめとする情報通信技術の発展により我々の生活はますます便利になり、人工知能やロボットのめざましい進化によって、生産性の向上や効率化が進んでいま

す。しかしその一方で、ネット上のトラブルや犯罪などが多発し、悪質化しています。

また、今後 10 数年先には、人工知能の急速な進化が人間の職業を奪うのではないかと、などといった未来予測も発表されている状況にあります。

こうした状況にあるからこそ、私は「人と人とのつながり」がより一層重要になると思っています。

人と人とが関わり合い、知恵を出し合って、よりよいもの、人のためになるものを創りだして欲しいと思います。そのためにも、人の痛みがわかる、人の喜ぶ顔を思い浮かべることができる、豊かな感性を持った人であり続けて欲しいと思います。

あと一つは「夢と希望を持って、様々なことにチャレンジして欲しい」ということです。人間は誰しも、先の見通しが立たない、予測困難な状況にあると、夢や希望を持たなかったり、或いは見失いかけてたりするものだと思います。

だからこそ、皆さんには夢と希望を持って欲しいと思うのです。

ここで言う「夢」とは、努力を積み重ねることで、自分が最も大切に思うことを実現するためのものであり、お金で買えたり人から与えられたりすることで実現するものではありません。

「希望」とは、思い描く理想の未来への強い期待であり、その未来に少しでも近づこうとする熱意だと、私は捉えています。

そして、「夢と希望」は、あなただけのものではなく、周囲の人や社会の人々を豊かにするものであって欲しいと思います。

皆さんの夢と希望の実現に向けて、やるべきことを見つけ、そのやるべきことに多少の困難があったとしても、失敗を恐れず、果敢に挑戦し続けて欲しいと心から願っています。

最後になりましたが、今日の佳き日を待ち望んでこられた保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。あわせて、これまで本校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

3 年前、期待と不安を抱き、この場所で入学式に臨んだお子様が、今日こうして社会への旅立ちの第一歩として、凛々しく大人びた姿で式に臨んでいる姿を見られるにつけて、これまでの数々の出来事、思い出が甦り、万感胸に迫る思いでおられることと存じます。

高校生という非常に多感な時期にあって、保護者の皆様方には、さぞかしご苦労もおありであったのではと拝察いたします。そうしたご苦労が本日、このように頼もしい成長した姿として実を結びましたことに対して、心から敬意を表しますとともにお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよ新しい世界へ出発です。

三年間、皆さん一人一人に対して、できうる限りの支援を惜しまなかった 42 期生の担任の先生方、そして、長尾高校全ての教職員を代表し、卒業生の皆さんに限りない惜別の思いを残しつつ、その洋々たる前途を祝して、式辞といたします。

ご卒業本当におめでとう。

平成 29 年 2 月 28 日

大阪府立長尾高等学校  
校長 寶田 康彦